

## +1 (プラスワン)

## 「春近し・巷間巷談」

牧師 横山順一

二月二十一日、教区の教会交流ならびに関西労働者伝道委員会の交換講演で、進藤啓介さんと甲子園教会に行ってきた。

「交換講演」とは、考えて見れば妙な言葉です。時に講演交換とも言われますけど、文字通りに受け取るなら、互いの「講演」を交換する訳で、何じゃそれ？となります。

ですから、誤解を受けぬよう、せめて「交換講演」と言うことにしています。でも、分かりやすくするなら「交換説教」の方がましかもしれません。

それはともかく、阪神タイガースファンのクリスマスには「甲子園教会」とは、まるで聖地ののごとくの憧れの響きをその名に感じます。もちろん何の関係もありませんが。

ここを訪れるのは初めてではありませんでしたが、いざ礼拝となると、あちこちをつい見入ってしまいます。

いわゆる「教室型」の伝統的な会堂です。暗めに設定されている講演正面、ガラスの十字架から光が注がれます。

礼拝式次第は、かちつとした、いかにも旧メソジストの伝統を思わされるものでした。

週報には、通算三四八〇号のナンバリングがなされておりました。東神戸のそれはその年度の通算です。

甲子園教会は、園児二百名近くを預かる、付属武庫川幼稚園を擁しておられ、司会者の祈りにも園児とその家族のための言葉が込められていました。

住宅街で、すぐそばに武庫川が流れていて、環境的にも決して悪くないのですが、一点、名神高速道が真横を通っているのです。幼稚園園庭のすぐ上がそれであり、牧師館の真向かいでもあります。

現在の建物の老朽化と、高速道路からの騒音や振動や排ガスの問題もあって、今後全面移転も視野に入れた未来への協議が始まるのだそうでした。

これまで属して来た地区・教区でも交換講演がありましたし、そ

の他お招きを受けた教会・伝道所や学校を加えれば、優に二十を超えるところへ出かけて来ました。それは実に良い経験となりました。

今回佐藤牧師を招いた東神戸教会の側でも同じことが言えますが、交換講演は、とても新鮮な刺激をいただく貴重な機会です。

教会の立地する場所・環境、信徒の皆さんの雰囲気、(必ずしも長さに限らない)設立以来の歩み方、などなど、違うのは当たり前ではありませんが、その違いから多くを教えられるのです。

兵庫教区では、牧師のみの交換ではなく、「教会交流」としての交換講演を目指しています。それはその通りで、信徒も含めた交流へと広がるのが「好感講演」であり、「交歓講演」なのでしょう。

ただし、みんな大勢で出かけては交換「教会」となってしまいましたから、悩ましい課題ではあります。

ともあれ、甲子園教会のこれからのために祈りを合わせます。フレ、フレ！佐藤牧師と甲子園教会。

次はどこと組み合わせかな？